



看護の日「ふれあい看護体験」

看護部 久高 萌

今年も看護の日イベントとして7月に「ふれあい看護体験」を実施しました。
高校・予備校生10校から22名の参加があり、とても活気がある日となりました。
ユニフォームへ着替え、「血圧測定・呼吸数の確認」「感染対策の講義」「病棟・リハビリ室・リハビリ外来・検査・放射線課の見学」を行いました。

血圧測定・呼吸数の確認では、若手看護師より測定方法や正常値、気を付けている事など、エピソードも含めたレクチャーを受け、3-4名の小グループに分かれて体験しました。「色々な音が聞こえて、集中しないと聞き取れない」と首をかしげながらも真剣に実施していました。

感染対策の講義では、認定看護師による感染対策の基本知識・手洗い方法についての説明や手洗いチェックを実施しました。手洗いチェックでは手首や爪の付け根に残しがあり、「普段より時間をかけて洗ったが菌が残っていた、**丁寧に手洗う事の大切さがわかった**」という声が多数聞かれました。

施設見学では、病棟の機能や特性、リハビリ器具やMRI・CTなどの放射線器械の説明を通して専門職の業務を知ってもらい、**多職種協働の実際**を感じてもらいました。

看護師に興味がある方が大半だったと思いますが、他の職種の仕事内容も学ばず「興味を持った・病院の中身を知れてよかった」という声や「**今日対応してくれた看護師さんみたいになりたい**」「医療に貢献できる看護師になりたい」「やりがいがある仕事だと感じた」など**嬉しい感想**を沢山頂きました。



近隣高校生 施設見学・職場体験

夏休みを利用し、施設見学や職場体験のご依頼がありました。

◎ 施設見学：1時間程度、病院概要説明と現場見学（学校依頼）

◎ 職場体験：2名 1日体験型（個人依頼）

職場体験では、希望の職種ユニフォームを着用し、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士それぞれのリハビリ体験を行いました。
進路模索の段階や最終決定の為に体験など、目的は様々ですが、職種の魅力を知ってもらうよう対応して行きます。
気になる方は是非お問い合わせ下さい。



★第2回 ちゅうらうみ夏祭り★

新館4Fちゅうらうみホール マネージャー 兼 看護副部長 金城 ユリ子

今年度も**夏祭り**を開催しました。場所は病棟の食堂の一角を活用し、**手作りの飾り付けでお祭り会場へイメージチェンジ！**今年はリハビリ学生やご家族の参加もあり活気のある夏祭りになりました。

患者さんとスタッフが一緒にに綿あめやヒヤヨーチーを作り、射的などの出で遊んだり食べたり、お祭りを皆で楽しみました。

イベント企画から設営、運営まで様々な職種のスタッフで協力し合ったからこそ実現できました。

コミュニティホスピタルとして、これからもスタッフ一同、患者さんのリハビリをサポートしながら日常生活を楽しんでいただけるよういろいろなことを考え、企画し取り組んでいきます。



精神科デイケア&かなさんホールの合同レク大会開催 「オリンピック」ーデイケアと病棟との架け橋ー

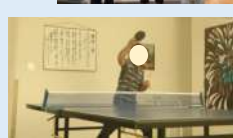
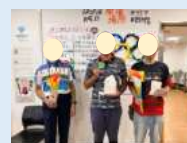
精神科デイケア 作業療法士 田場 有希

8月に精神科デイケアと本館4階かなさんホールとの合同でレクリエーション大会の「オリンピック」を開催しました。

卓球大会と9種目のレク（ボウリングや箱の中身はなんだろう？など）を同時に1日ばかりで行いました。1カ月前からデイケアの利用者らと飾りを作成し、デイルームを華やかに装飾したり、得点上位3名の方への景品として革細工で作ったサングワ・マース入れ・メダルを用意しました。

今回初めて精神科デイケアと4階かなさんホールの合同イベントでしたが、これを機に退院後の**デイケア生活がイメージしやすくなること**、ひいては通所を継続することで地域での安定した暮らしにつながることを期待します。一方、デイケアの利用者様は病棟のスタッフや雰囲気を知ることができ**安心して治療に向き合えること**に繋がります。

心温まる交流のひとつ。次の開催もお楽しみに！



亀の里 納涼祭

介護老人保健施設 亀の里 マネージャー 東江 若奈 / 管理部 課長 伊禮 翼

今年9月、数年ぶりに屋外にて納涼祭を開催しました。

たこ焼きやかき氷の出店、輪投げや金魚すくい体験し、職員エイサーをご家族も一緒にしながら楽しみました。

これからも健康で生きがいのある元気なまちづくりの一環として、利用者の心と体の健康に寄与していきたい思います。



快挙！作業療法士が沖縄県学会で表彰

リハビリテーション部 副部長 鈴木 里志

このたび、当院作業療法士の吉村奈緒子が、5月に開催された第20回沖縄県作業療法学会にて研究発表を行い、大会長賞を受賞いたしました。テーマは「作業療法を通して人を信頼する大切さに気づき、多職種連携やクライシスプラン作成に至った事例」で日々の臨床での取り組みを基盤にした実践的な研究が高く評価されたものです。県内から多数の発表がある中での受賞は、当院にとっても大きな誇りです。今回の成果は、日頃からの臨床実践の積み重ねと、患者さん・ご家族のご協力、そしてチーム全体での取り組みがあってこそ得られたものです。今後も私たち作業療法士が、臨床・研究の両面から質の高いリハビリテーションを提供してまいります。

